

Phonak Target 6.2

デスクトップフィッティングガイド



Phonak Target™は適格な聴覚専門家が顧客の固有要件に合わせた補聴器を設定、プログラム、フィッティングするためには使用します。このガイドは、Phonak Target で補聴器をフィッティングするための詳細な入門書です。

目次

顧客とセッション	2
構造とナビゲーション	2
補聴器/CROS の準備	2
フォナック マーベル トライアル補聴器の設定	3
補聴器の接続	3
音響パラメータ	3
レシーバチェック	4
アクセサリー	4
フィッティング	4
ハウリングと実耳テスト	5
オージオグラムダイレクト	5
基本調整	5
自動順応マネージャ	5
リアルタイムディスプレイ	5
微調整	6
利得 & MPO	6
オーディビリティファインチューニング	6
プログラムオプション	7
サウンドリカバー2/サウンドリカバー	7
TK/利得(35 dB)	8
オートマチックファインチューニング	8
音素認識テストの結果	8
機器オプション	9
フィッティング セッションの終了	9
記号の情報と説明	9
システム要件	10

顧客とセッション

登録顧客情報がない場合、[新規顧客...]から顧客を作成します。

登録した顧客情報がある場合、[全件表示]をクリックして表示します。

NOAH からアクセスする場合は、NOAH の顧客データを利用し、モジュール一覧から Phonak Target を起動してください。

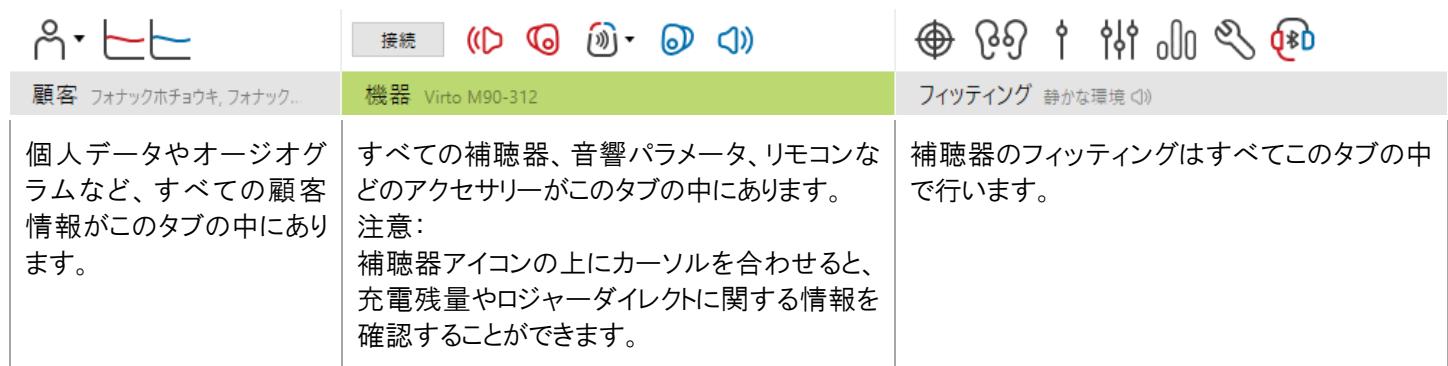
顧客情報を編集	
フリガナ	入力してください...
名前	入力してください...
住所 1	
住所 2	
郵便番号	
区市町村	
性別	<input type="radio"/> 女性 <input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> ノンバイナリー
生年月日	1950/01/01
年齢	70 歳
Eメールアドレス	
自宅の電話	
会社の電話	
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

[新しいセッション]をクリックしてセッションを開きます。データベースから開く場合は、利用したい日付を選択し [セッションを開く]をクリックしてセッションを開きます。

構造とナビゲーション

Phonak Target のセッション内に入ると、3 つのタブ [顧客]、[機器] と [フィッティング] および上部ダッシュボードには、簡単なナビゲーションと状況情報が表示されます。

ダッシュボードでは、フィッティング状態とショートカットも示します。



補聴器/CROS の準備

アイキューブ / アイキューブ II / ノアリンク ワイヤレス

プログラミングケーブルは不要です。補聴器の電池ホルダーを開けて電池を入れ、電池ホルダーを閉じれば補聴器の電源が入ります。充電式補聴器の場合はチャージャーケースから取り出すか、プログラムボタンを長押しして電源を入れます。

CROS システムのフィッティングについては、デモを行いながら微調整できるアイキューブ II を使用いただくことを推奨しています。

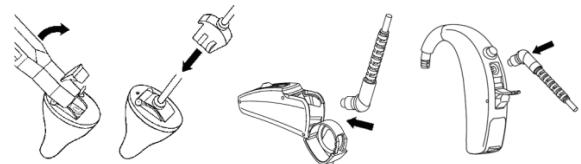
クロス B は、Belong™(ビロング)シリーズ補聴器(充電式を除く)と使用できます。

クロス B-R は、フォナック オーデオ B-R とのみ使用できます。

NOAHlink または HI-PRO USB

プログラミング用のケーブルを補聴器とフィッティング機器に接続します(右図)。

CROS フィッティングでは、プログラミングケーブルを接続した状態で CROS のデモを行うことはできません。



フォナック マーベル トライアル補聴器の設定

フォナック マーベルのトライアル補聴器では、1つの機器で4つのクラスに設定変更することができます。

【トライアルとツール】>【トライアル補聴器】を選択し、【設定中...】

ボタンを押して開始します。設定変更は片耳ずつ行います。



補聴器の接続

新しいフィッティングセッションを開き、正しいフィッティング機器が表示されていることを確認します。フィッティング機器を変更するには、ダッシュボードのフィッティング機器の隣に表示されているプルダウン矢印▼を使用します。

オレンジ色の【接続】をクリックしてフィッティングを開始します。

接続した補聴器がダッシュボードに表示されます。

接続に成功すると【接続】ボタンはオレンジ色からグレー色に変わります。



直接接続できる機器の場合:

- 利用可能な機器は自動的に表示されます。
- 機器が表示されない場合は、電池ホルダーを開閉するか、充電式補聴器の電源を入切り、ペアリングモードにします。
- 複数の機器が利用可能状態である場合、補聴器のプログラムスイッチまたは多機能ボタンを押すと表示された該当機器がハイライトされます。または、をクリックすると該当補聴器からビープ音が聞こえます。装用する左右を確定し【接続】をクリックします。
- 過去に接続したことのある機器は、ペアリング済み機器として記憶され、左右が自動的に選択表示されます。

新しいフィッティング時のみ、フィッティングセッションの情報に基づき、推奨される装用経験が選択されます。

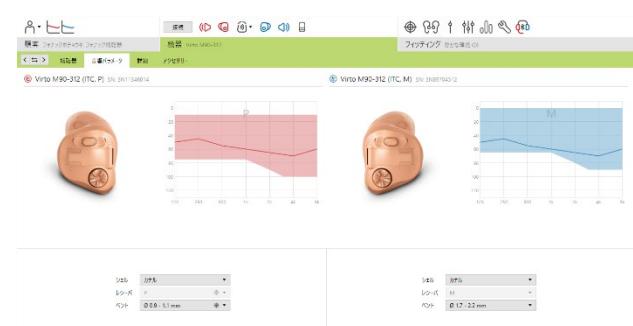


NOAHを使用している場合、NOAHに登録されたオージオグラムが自動的にPhonak Targetにインポートされ、事前計算されます。

音響パラメータ

補聴器を接続すると、音響パラメータの画面に自動的に移動します。音響パラメータ内では自動的に左右をリンクさせます。音響パラメータの内容はいつでも変更や左右のリンク解除ができます。変更した後は再計算するようにしてください。

【機器】>【音響パラメータ】をクリックします。正しい音響カーリング情報が入力されているか確認してください。



レシーバチェック

初めて RIC タイプ補聴器を接続する際、補聴器に接続されているレシーバが【音響パラメータ】画面で選択されているものと一致しているかどうか自動的にチェックします。【チェック】ボタンがグレー色であればレシーバは確認済みです。オレンジ色の場合はまだ未確認なので、レシーバチェックを行ってください。

一致していない場合は、Phonak Target がその旨を通知し、レシーバを確認するようメッセージが表示されます。その場合、レシーバを正しいものに取り替えるか、音響パラメータを変更してください。



アクセサリー

接続した補聴器によっては、フィッティングセッション中に USB ケーブルを使って接続したアクセサリーを自動識別できます。識別が正しくされていれば【識別】ボタンはグレー色です。識別されていない場合はオレンジ色です。識別されたアクセサリーは、ダッシュボードにアイコンが表示されます。

アクセサリーは、【機器】 > 【アクセサリー】をクリックします。
自動識別も可能ですが、【識別】ボタンをクリックして手動識別することも可能です。

保存する際に、アクセサリーは保存ダイアログにリストされます。



フィッティング

ハウリングと実耳テスト

【フィッティング】 > 【ハウリングと実耳テスト】にアクセスします。

ハウリングテストは両耳でも片耳ずつでも行うことができます。
【R】 / 【両耳で開始】 / 【L】をクリックしてテストを開始します。



ハウリングと実耳テストの測定結果を使用し、RECD 推測値 および 音響パラメータ設定を計算するには、【推測したベントを使用して補聴器設定を再計算します。】に✓を入れます。

RECD とベント評価が可能な場合にのみ✓を入れることができます。

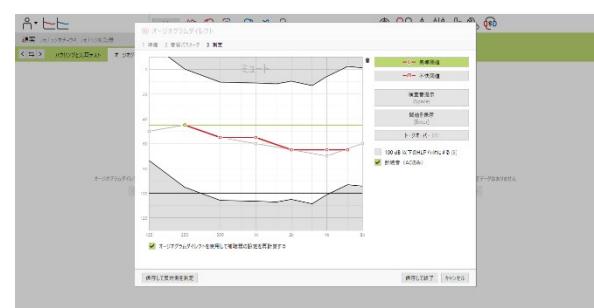


オージオグラムダイレクト

オージオグラムダイレクトを行う前に **【ハウリングと実耳テスト】** が実行済みであるか確認してください。

接続した補聴器を使用して装用閾値と不快閾値を測定するため、**【オージオグラムダイレクト】** > **【開始】**ボタンを押して始めてください。
【断続音】を選択することもできます。

前回の聴力テストについては、**【履歴】** をクリックし比較およびレビューできます。



測定動作に関する初期設定を変更するには、**【スタートアップ】** > **【フィッティングセッション】** > **【オージオグラムダイレクト】** から行います。

基本調整

利得レベル、閉塞感対処、圧縮比を調整する場合は、**【基本調整】** > **【初期フィッティング】** から行ってください。利得レベルおよび圧縮比の設定は、顧客の装用経験および選択されたフィッティング計算に基づいています。



自動順応マネージャ

自動順応マネージャを使用する前に、**【ハウリングと実耳テスト】** を実行してください。

【初期フィッティング】 > **【利得レベル】** のプルダウン▼を開き **【自動順応マネージャ】** を選択します。ハウリングと実耳テストを実行していれば、自動順応マネージャを選択することができます。

【...】 をクリックして、開始時と終了時の目標利得レベルを設定します。さらに継続期間を指定して**【OK】**をクリックして決定します。



リアルタイムディスプレイ

リアルタイムディスプレイにアクセスするには、タイトルバーの右側にある**【顧客画面】**をクリックします。

リアルタイムディスプレイは、すべての補聴器が利用できるフィッティング特性画面のオプション表示機能で、ユーザーにわかりやすいよう2つ目の画面に拡大して表示することができます。この機能は Phonak Target で補聴器接続中にのみ表示させることができます。

ステレオや環境サンプル音を使用する際は、語音明瞭度、利得、出力、サウンドリカバーチャンネル分割などデモしやすくなります。



微調整

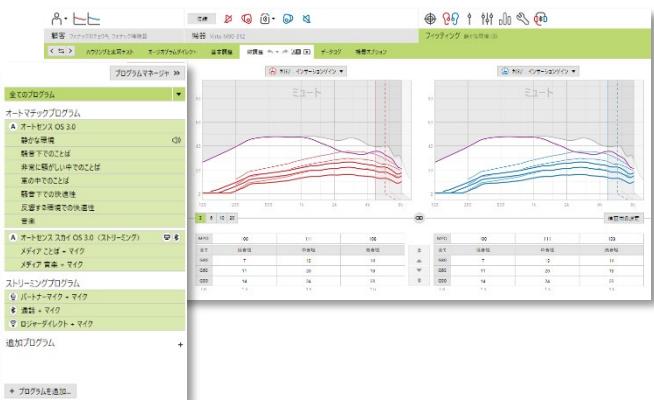
[微調整] 画面の左側は、プログラム内容の確認や設定するのに使用します。

プログラムは大きく分けて 3 つの項目に分かれています：

- ① オートマチックプログラム
- ② ストリーミングプログラム
- ③ 追加プログラム

すべてのプログラムを同時に調整するには**[すべてのプログラム]**をクリックします。

自動プログラムすべてを調整するには**[オートセンス OS 3.0]**をクリックします。



画面下部のタブからフィッティングツールにアクセスできます。
各ツール内で特定の微調整を行うことができます。

ストリーミングプログラムすべてを調整するには**[オートセンス OS 3.0(ストリーミング)]**をクリックします。

選択されたプログラムは緑色にハイライトされます

1 つのプログラムを調整するには、プログラムリスト内の**[静かな環境]**などをクリックして調整します。

追加プログラムを追加するには、画面左下の**[+プログラムを追加...]**からアクセスします。

プログラムリスト上部の**[プログラムマネージャ>>]**をクリックすると、全てのプログラムの詳細設定を確認することができ、同時に設定や変更を行うことが可能です。

元に戻す / やり直し 機能は**[微調整]**メニューバーの横にあり、微調整内容を元に戻す/やり直しを行うのに使用します。
(元に戻す... 1つ前に戻る、やり直す... 1つ前に戻る前に戻る)

利得 & MPO

調整したい利得値をカーソルで選択します。利得値は入力レベル別でも全てでもカーソルをドラッグして指定すれば調整可能です。利得は 1dB ずつ、または 3dB ずつ上げ下げすることができます。

全帯域で MPO を同時調整するには、MPO 値の左側にある**[MPO]**をクリックします。全体の利得を変更するには**[全て]**をクリックします。

周波数ごとの圧縮比(CR)は、利得値の真下に表示されます。
利得調整すると同時にこの圧縮比も自動調整されます。



オーディビリティファインチューニング

選択した音サンプルに基づき、利得値と特性曲線が色濃く表示されます。音サンプルは、特定の聞こえの環境をシミュレーションして再生されます。

利得値は、入力音レベル(大中小)ごとに表示されます。選択した音サンプルに基づき、可聴性を上げるのに効果的な周波数と利得値にのみが調整されます。右は赤、左は青に色付けられて表示されます。



プログラムオプション

プログラムオプションの詳細内容は初期設定から変更することもできます。また、現在設定されている内容は 0~10 までの数値がスライダー上に表示されます。スライダー上に設定可能な範囲が表示されますが、この範囲は補聴器のクラスによって異なります。

直接接続できる補聴器の場合、ストリーミング機器(例: テレビコネクター D、Roger™(ロジャー)、パートナーマイク)使用時の切替方法を設定することができます。

直接接続できる機器で設定可能な切替方法:

- **【オートマチック】**

自動的にストリーミングプログラムに切り替わり、ストリーミング信号を受信します(初期設定)。

- **【マニュアル】**

ストリーミング信号を受信してもビープ音は聞こえず、手動でプログラムを順に切り替えた時の最後にストリーミングプログラムが追加されます。

- **【マニュアル(ビープ音あり)】**

ストリーミング信号を受信するとビープ音が補聴器から聞こえます。手動で順にプログラムを順に切り替えた時の最後にストリーミングプログラムが追加されます。

ビープ音が聞こえてから 15 秒以内に多機能ボタンを押すとストリーミングプログラムに一気に切り替わります。



サウンドリカバー2 / サウンドリカバー

仮計算で設定されたサウンドリカバーの設定を微調整することができます。両耳フィッティングの場合は、良聴耳のカットオフ周波数および周波数圧縮比に基づいて計算されます。

フィッティングセッションにおいて互換性のない補聴器で両耳フィッティングする場合は、サウンドリカバーの設定を確認するようしてください。

サウンドリカバー2

顧客の可聴性または識別性の好みに合わせて、サウンドリカバー2 の強さを設定します。

可聴性は、高音域の音をより良い聞こえの低音域エリアに移行して聞こえやすくなります。

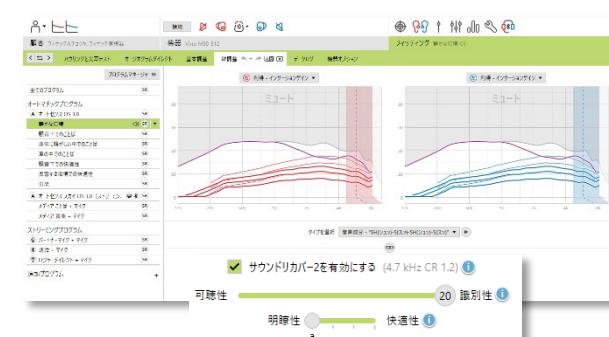
識別性は、S や SH の高音域の音をできるだけ原音に近い形で聞こえるよう、高音域エリアに移行して識別しやすくなります。

可聴性と識別性の設定に合わせて、明瞭性と快適性の設定を調整してください。

明瞭性と快適性のスライダーを調整した後に可聴性と識別性のスライダーを調整すると、バランスを合わせるため、明瞭性と快適性のスライダーは自動的にリセット(再計算)されます。

明瞭性は、高音域の聞こえに違和感がある場合に可聴性と識別性が微調整されます。

快適性は、男性の声、自分の声、音楽をより自然に聞こえるようにします。

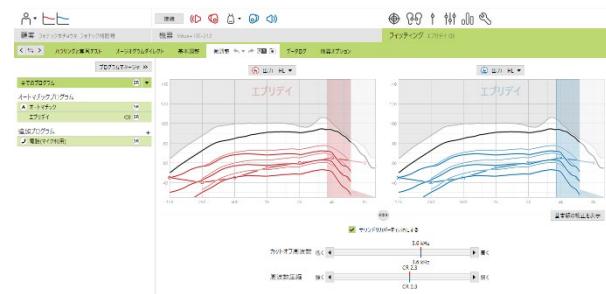


サウンドリカバー

周波数圧縮の強さを調節して、語音明瞭度、可聴性、音質を向上させます。



サウンドリカバーの拡張ツールを利用して、カットオフ周波数や圧縮比を個別に調整することもできます。[拡張ツールの補正を表示]をクリックすると表示されます。



TK/利得 (35 dB)

非常に小さい (G35) 入力音の増幅は、この画面で調整できます。

非常に小さい入力音の利得を増加するとニーポイント(TK)が下がり、利得を減少させるとニーポイント(TK)が上がります。

調整したい値をカーソルで選択します。利得値の下には、各チャンネルの TK 値が表示されます。特性画面には非常に小さい入力音の利得/出力カーブが表示されます。

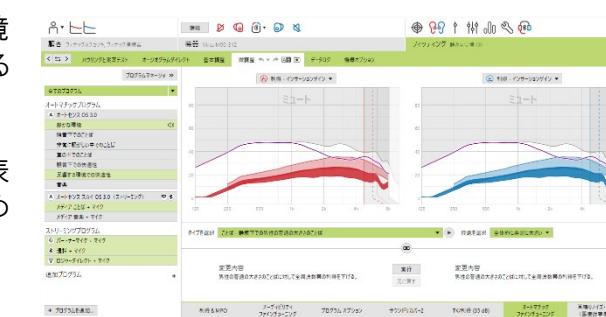


オートマチックファインチューニング

聞こえの問題や状況に合わせて微調整できる画面です。選択した音環境と装用者の音環境に対する評価が一致すればその調整内容を利用することができる

推奨される微調整内容を実行する前に必要な微調整の詳細内容が表示されます。選択したプログラムによっては、推奨する音サンプルが予め選択されます。

音サンプルは、聞こえの環境をデモするのに再生することもできます。



音素認識テストの結果

事前に行った音素認識テストの結果が表示されます。そして、フィッティング内容の精度をさらに高めるために、このテスト結果をフィッティング内容に適用させること可能です。互換性のあるテスト結果が NOAH のセッションリストに保存されていれば、Phonak Target 上に専用画面が表示されます。

注意: アダプティブ・フォナック・デジタルを使用した場合のみ、推奨する微調整内容が提供されます。フィッティング内容に適用できるのは、NOAH で Phonak Target を使用している場合に限ります。

機器オプション

【機器オプション】をクリックすると、プログラムスイッチまたは多機能ボタン、ボリュームの作用、お知らせ音と警告音、スタートアップ、データログなど、補聴器オプションを設定できます。



直接通信できる機器の場合:

- **[Bluetooth]** タブをクリックすることで、Bluetooth の登録名や使用する側の設定、Bluetooth ペアリングの解除などを行うことができます。



フィッティング セッションの終了

画面右上にある【セッションを保存して閉じる】をクリックすれば、いつでもフィッティングセッションを閉じられます。保存したいアイテム(補聴器・アクセサリー・データベース)に✓が入っているか確認します。Phonak Target と接続されている機器およびデータベースに✓がなければクリックして✓を付けてください。フォナック マーベル トライアル補聴器は、保存終了後、自動的に最大 6 週間のトライアル期間が設定されます。

保存ダイアログ上で、補聴器とアクセサリーが正常に保存されたか確認できます。

保存が終了すると、Phonak Target を起動した最初の画面に自動的に移動します。

NOAH を使用している場合、NOAH に戻るには、開始画面の右上にある【Noah に戻る】をクリックしてください。

記号の情報と説明



CE マークにより、この製品が、医療装置の指令 93/42/EEC を遵守していることを Sonova は確認します。
CE マークに続く番号は、上記の指令下で評価を行った公認機関のコードを表します。



EU 指令 93/42/EEC に定義される医療機器の製造業者であることを示しています。



医療機器を識別するための製造業者のカタログ番号を示しています。



使用説明書を参照してください。使用説明書は www.phonakpro.com ウェブサイトから取得できます。



特長や機能を詳説したり、適用される関連フィッティング情報をハイライトします。



エンドユーザーの体験に影響する可能性のある機能上の制限を説明し、注意すべき重要な情報をハイライトします。

システム要件

オペレーティング システム(OS)	<ul style="list-style-type: none"> Windows 10、Home / Pro / Enterprise Windows 8 / 8.1、最新 SP、Pro / Enterprise Windows 7、最新 SP、Home / Professional / Business / Enterprise / Ultimate
プロセッサ	Intel Core プロセッサ
RAM	4 GB 以上
ハードディスク容量	3 GB 以上
画面解像度	1280 x 1024 ピクセル以上
グラフィック カード	1600 万色 (24 ビット) 以上
ドライブ	DVD
シリアル COM ポート	旧タイプ HI-PRO(RS-232 HI-PRO) を使用する場合のみ
USB ポート 各目的に 1 つずつ	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth® 技術搭載ワイヤレス アダプター*(アイキューブ II / NOAHlink) アクセサリー プログラミング(コムパイロット II など) HI-PRO、ただし USB ポート経由で使用する場合 HI-PRO 2 または HI-PRO USB ノアリンク ワイヤレス
プログラミング インターフェイス	ノアリンク ワイヤレス / アイキューブ II / アイキューブ / NOAHlink / RS-232 HI-PRO / HI-PRO USB / HI-PRO2
ノアリンク ドライバー	入手可能な最新バージョン
ノアリンク ワイヤレス ドライバー	入手可能な最新バージョン
インターネット接続	推奨
サウンド カード	ステレオまたはサラウンド 5.1
再生システム	20 Hz ~ 14 kHz (± 5 dB)、90 dB 最新バージョン (NOAH 4.4 以上)
NOAH のバージョン	Windows 64 ビット オペレーティング システム用のノアの制限事項を http://www.himsa.com で確認してください。
TargetMatch	NOAH のバージョン 4.4.2280 以降 Otometrics Otosuite 4.84.00 以降 Otometrics AURICAL FreeFit、REM および AURICAL HIT 検査箱測定用

Bluetooth® のワードマークは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。

CE マークには、2020 年に取得しました。



製造元:
Sonova AG

Laubisrütistrasse 28
CH-8712 Stäfa

Phonak Target 6.2 DVD